

仙人温泉小屋

山小屋情報(登山道情報)(2017.8.10~8.16)

「小屋の状況」「登山道の状況」をお伝えして、お客様の「登山計画」の一助になればと、思いまして、取り急ぎ発信致します。

小屋の状況

- ◆現在、小屋で「お客様をお迎えすることは出来ず。」
(仮設棟をご用意してあります)
★但し、「宿泊人数」に制限がありますので、「予約」その他、小屋にお問い合わせ下さい

登山道の状況

- ◆剣岳方面(池の平・仙人池～仙人温泉小屋)
◇通行可能です。(スタッフが、8/13に偵察済みです。)
(★雪溪の状態は、日々変化しますので「仙人池ヒュッテ」等にお問い合わせ下さい)
- ◆仙人温泉小屋～阿曾原方面(雲切新道)
◇阿曾原温泉小屋までは、通行可能です。
注意:①仙人谷ダム上部の沢には、「架橋」されていません!(渡渉するしか方法はありません)
(雨による増水時は、渡渉困難です!)!!絶対「無謀」なことは避けて下さい!
②阿曾原温泉小屋から樺平への通行は出来ませんので、「引き返し」の計画(体力)を考慮して下さい!
★「水平道」は通行出来ません!(詳細は、「阿曾原温泉小屋」様の情報をキャッチして下さい)

◇仙人温泉小屋下の沢(雪溪)の状況 **(8/16日現在です。)** 日々変化しますので、ご注意ください!

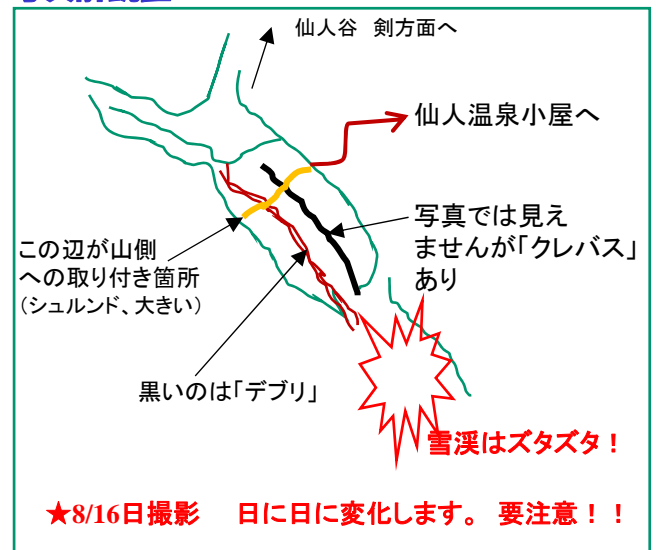
- ★ 雪溪はズタズタの状態ですので、その時々で、判断して下さい!
- ★ 沢の雪溪は「中央にクレバス」が上流から下流に向かって、縦に入っています。
(幅:概ね80cm程度でした。) → 飛び越すには危険が伴います。
- ★ 左岸側(小屋側)は、山側から雪溪へ降りるのは問題ありません
- ★ 右岸側は、「シュルンド」が大きく口を開け、雪溪から、山側へ渡るのは非常に困難でした。

小屋下の雪溪遠望(右岸:「小屋のぞき」付近から)



通常の沢を渡るルート
(赤線の位置)

写真解説図



宿泊棟(小屋の傾き状況 その1)

・外壁・内壁・その他を全て解体した処



宿泊棟(小屋の傾き状況 その2)

・左側に傾いている状況 ★山(右)側から、雪に押された。



宿泊棟(小屋内全て解体)

・「梁」が雪の重みで折れている



宿泊棟(傾きが直った!)

・小屋の大岩の上から「カシャッ!」と一枚



仕事が終わって、ご満悦な仙人(ヤッター!!)

・「仕事の後のグビーンツ! は格別です。



「大農園」

収穫した「葉だいこん」



温泉のき裂の補修が終わって、満々と湯をたたえる風呂 (お客様を待つばかりです。!!)



お客様各位

宿泊棟も「あと10日」程度で完璧になります。(仙人の弁)
また、「仮設棟」もあり、お客様にお泊り頂く準備は整っております。

温泉・水道も安定しておりますので、是非、仙人温泉小屋へお越し下さい!

ただ、「樺平」には行けませんので、残念ながら、室堂方面にお戻り頂くようになります。

よって「計画」にあたっては、十分余裕を持った日程で、お願い致します。

主 (代理)